

- 収益力改善支援実施要領（2022年4月1日）を基に、収益性、健全性、効率性の観点から基準設定。これにより、事業者自らが簡単にチェック可能。
- ロカベンの評点を活用することで、規模・業種特性を勘案した判定を可能にした。
- ロカベン2022年版（11/1公表）の最新データ利用によりコロナ影響も加味した判定。

※Actは、事業者が当ツールを使って・支援機関・金融機関へ相談するという前向きな行動（Action）を促し、地域産業の活性化（Activate）に繋げるという目的から命名。

※**11月17日に当局HPにて公表**

判定基準とコメント

判定基準		ツールに表示するコメント	
収益性	①営業利益の赤字	下記のいずれかに該当 ・評点2+2期連続悪化+直近期マイナス ・評点1	営業利益率が同業種、同規模比で低水準にあります。
健全性	②EBITDA有利子負債倍率 (借入金－現金・預金) ÷ (営業利益＋減価償却費)	直近2期連続で次のいずれかに該当 (1)倍率が15倍超 (2)倍率がマイナス	利益に対して借入が多い可能性があります。
効率性	③営業運転資本回転期間 (売上債権＋棚卸資産－買入債務) ÷ (売上高 ÷ 12)	下記のいずれかに該当 ・評点2+2期連続悪化 ・評点1	資金繰りが同業種、同規模比で劣位にあります。社会保険料や税金の滞納は有りませんか。

共通コメント



本業の収益力や資金繰り、財務体質改善に向けて、金融機関や顧問税理士、最寄りの中小企業活性化協議会へご相談してみてもいかがでしょうか。

ローカルベンチマークActの活用状況について

- 近畿管内では、公表後、支援機関や金融機関が創意工夫して活用している。
- 当局としても、従来のローカルベンチマークに置き換える形で利用してもらえるよう積極的に推奨。

活用例

① 支援機関 ⇔ 事業者

② 金融機関 ⇔ 事業者、支援機関

③ 支援機関 ⇔ 支援機関